

フランス17世紀における聖
母マリアの身体パーツを通
してのキリスト教神秘主義
の詩 Dévotion について

小泉友美 KOIZUMI
Tomomi



目次

Dévote Salutation (敬虔な挨拶) カミの母 聖母マリアの神聖なる身体への信心	1
---	---

Dévote Salutation (敬虔な挨拶) カミの母 聖母マリアの神聖なる身体への信心

Dévote Salutation は、1678 年に匿名のカプチン フランシスコ会修道士によって出版された、17 世紀 キリスト教神秘主義の詩である。フランシスコ会キリスト教神秘主義スピリチュアリティーと聖母への信心という 2 つの思想が合わさったもので、ブラゾンという 16 世紀以降フランスで流行した詩の影響がみられる。ブラゾンとは、フランス語の紋章という意味で、女性の身体の異なったパーツ (部分) を選び出し、それにふさわしいメタファー (隠喩) を通して、女性の身体を賛美するアレゴリーである。また、キリスト教神秘主義文学で使用された絵画的言語表現とは、個人的な神秘体験 (信仰) を通して、音、感情の世界が芸術作品を通してヴィジュアル (視覚) 化されること、例えば太陽の光が溢れている眼のように。読者が視覚を通して、絵画的な言語手段を使用すること。一見つじつまの合わない話であるが、文章を読み解くよりも、1 つ 1 つの言語を想像してゆくことで、1 つの画が出来あがってゆく。1 つの観想法とみてよい。この聖母マリアの身体を讃える詩 Dévote Salutation において、頭、髪の毛、目、首、口、唇、頬、胸、乳房、両手、腕の部位が表現されている。すでに旧約聖書雅歌は神秘の婚姻 (カミと教会 (女性/婚姻者) の象徴的婚姻) をテーマとして女性の身体の賛美をしている。簡単に雅歌における女性 (教会/婚約者) の身体表現の引用語、Dévote Salutation の詩の独得な世界を連歌形式に訳して紹介してゆきたい。

Dévote Salutation 詩のなかの身体の象徴

頭

髪の毛

顔

耳

頬

口

宮殿

首

肩

腕

両掌

胸

乳首

こころ

腹

膝

足

血

すべての身体に

魂

雅歌における女性 (教会/婚約者) の身体表現

雅歌

口

1,1-2 その口の口づけをもってわたしに口づけしてくださるように

5,16 その口は甘美 , なにもかもわたしを魅惑する

首

1,10 房飾りのゆれる頬も玉飾りをかけた首も愛らしい

4,4

首はみごとに積み上げられたダビデの塔

乳房

1,13

恋しい方はミルラの匂い袋,
わたしの乳房のあいだで夜を過ごします

4,5

乳房は二匹の小鹿

目

1,15

あなたは美しく,
その目はは鳩のよう

右と左の腕

2,6

あの方が左の腕をわたしの頭の下に伸べ, 右の腕でわたしを抱いてくだされば良いのに

唇

4,3

唇は紅の糸、言葉がこぼれる時にはとりわけ愛らしい

5, 13

唇は百合の花、ミルラの雫を滴らす

こころ (胸)

4,9

あなたはわたしのこころをときめかす

両掌

5,5

わたしの両掌をミルラを滴らせ、ミルラの滴りは指から取っ手にこぼれ落ちました

髪

5,11

髪はふさふさと鳥の羽のように黒い

頭

5,10

頭は金、純金

頬

5,13

頬は香り草の花床、かぐわしく茂っている

胸

5,14

胸はサファイアを散りばめた象牙の板

Dévotion の詩

頭

聖母マリアの

至上なる頭よ

地と天をつかさどり

皇后よ

地獄の戦慄き

天上の栄光
まばゆいばかりの
星々の王冠よ

神の毛
聖母マリアの
愛しい髪の毛よ
神秘の
太陽の光線
完全なる
創造
愛と金の鉱脈
カミのプリズンに
つながれて
いのちの木の
根元には
天国の泉
憐れみ助ける
弓の弦
キリストに捕らわれし
網
狩りの武器

顔
美しき
聖母マリアの顔よ
いと尊き
三位一体の鑑
謙虚なるイメージよ
控えめなる絵図
驚異なる
小宇宙
神聖なる
肖像
美の画像よ

耳
聡明な耳
貧しき姫君の砦
法廷への懇願

哀れなる聴衆
神聖なる賢明さ
鉄輪を抜きとおして
願いを聞きいれてください

頬
聖母マリアの
花々しい頬
撫子と百合の花壇
柘榴の実
静寂なる庭
緋色に綾どられた
美しき花々
聖なる
慈善の薔薇

口
聖母マリアの
珊瑚色の口
髪の慈悲
素晴らしき
幸運の神託
わたしたちの
よきなる
成功へ
神聖なる
褒め讃えるべき
聖堂よ

宮殿へ
聖母マリアの
口
甘美なる宮殿よ
唇より
蜜の甘さを
滴らして
わたしたちの
いのちの志しを
打ち明けて
わたしたちの

人生の苦々しさを
やわらげて
愛の酒蔵は
人のこころを
嬉々とさせる

首
聖母マリアの首に
挨拶いたします
わたしたちの
いのちの
惨めさに
目をとめてくださる
天と地の運河よ
罪と恩恵の
会話の通路
正義なる
砂糖きびは
罪人にも
与えられる

肩
聖母マリアの
揺るぎない両肩よ
洪水に流れゆく
舟を助けだす山脈
わたしたちの
護られゆく
傷ついた
魂の支援

腕
聖母マリアの
かいがいい腕よ
イエス キリストの
兵(つわもの)たちよ
熾天使よ

2 つの翼

いのちの糧

悪魔を絞め殺す腕

すべての民を抱える腕よ

カミを囚えし腕

両掌

聖母マリアの

自由なる両掌よ

栄光なる

恩恵の資金よ

ミルラ (没薬) に薫る

両掌よ

ヒヤシンスと金に溢れかえった

両掌に

わたしたちの罪の謝罪と

恩恵の訓練

胸

聖母マリアの

情け深い胸は

難船を保護する港

亡命者の隠れ家

わたしたちの救いの神殿

天上なるキャビネット

幼きイエスの

横たわるベットに

不治の病む人のホスピス

巡礼者のホスピスに

乳首

聖母マリアの

乳首よ

世界一の

赤ん坊

貧しきカミよ

極貧なる司祭館よ

桃色の
天上の花瓶
真珠層の液体
乳と砂糖の泉

こころ
聖母マリアの
燃えるような御心よ
聖なる愛の
猛火
熾天使の矢
聖なる火花を
鍛造する
天上の
欲望の中心に
慈愛の木炭の
団欒の場
聖三位一体と
すべてのカミの
封印されたところ

腹
聖母マリアの
奇跡的なお腹よ
気前のよいカミの
調剤室
2つの性(セックス)が合わさる
婚姻の床
天体は太陽を動かし
曙は日を創る

膝
聖母マリアの
哀れなる両膝よ
祭壇の元にたてた
わたしたちの誓い
罪深き者たちの大黒柱

孤児たちの懇願
カミの怒りへの勝利者よ

足
聖母マリアの
疲れをしらぬ足よ
賑やかな天空の極に
聖なるを支える
カミの鎧窓
聖なる福者の公使
フェリシテからの手紙

血
聖母マリアの
尊い血
受肉の子 (イエス) の
衣をまといて
王たちの
緋色のマントに
奇跡的な祭壇の
労働者は
神聖さに宿る

すべての身体に
聖母マリアの
はかり知れない身体は
完全なる自然の原型
カミの祭壇
聖なる恩恵の遺物
神聖なるもの
熾天使たちの舞台
永遠なるアイデアの傑作

魂
聖母マリアの
苦しみの剣によって

傷ついて
栄光なる魂よ
キリストの受難による
すべての苦しみ
カミへの似姿に
神聖なる栄光の帝国
三位一体の公文書
美德の修道院
カミの本質の傍観者よ

完璧なるあなたの身体を通して
美德なる魂と
自然の恩恵に
聖母マリアへ
挨拶いたします
すべての
超自然的な行為によって
つよし あなたの魂と
あなたの身体
カミによる
すべての悦楽
すべての心地よき奉仕
すべてのあなたの身体部位は
息子であるキリストへと
わたしの魂を
癒やしたまえ
あなたのとりなしによって
わたしの身体と魂を
聖なる霊の
生きた神殿に奉献したまえ
わが人生に
恵みを与えたまえ

2025 年 5 月 24 日 フランス アンジェ 祈

フランス17世紀における聖母マリアの身体パーツを通してのキリスト教神秘主義の詩 *Dévote Salutation* について

著 者 小泉友美 Koizumi Tomomi

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
